

# 2019 ぴっぷ 議会だより



新たな飛躍誓う！ 第70回成人式（1月13日）

## 平成31年 比布町成人式



- 審議結果「12月定例会」ほか・・・・・・・・・・ 2
- 一般質問 ズバリ！ここが聞きたい・・・・・・・・ 3
- 議会議員研修会報告・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

# 定例会・臨時会 審議結果

主な審議内容についてお知らせします



## 第4回定例会

12月13日

定例会では、一般会計補正予算など議案3件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には、4人の議員から町の課題についての質問が出され、町長並びに教育長の考え方や方針を問いました。

各議員から出された一般質問は、3〜6ページに掲載しています。

### ◆平成30年度各会計補正予算

○一般（第6号）

△2億3062万円

○国保（第3号）

27万円

○介護保険（第2号） 70万円を組替

【原案可決】

## 第5回臨時会

11月26日

### 平成30年度各会計補正予算 (第4回定例会、第5回臨時会)

一般会計（第5号） 300万円の増  
総額 46億5,765万円→46億6,065万円

■ランル貯水池ハザードマップ作成委託料の増ほか

一般会計（第6号） 2億3,062万円の減  
46億6,065万円→44億3,003万円

■ぴっぴクリニック指定管理者制度の移行ほか

国民健康保険（第3号） 27万円の増  
総額 5億7,204万円→5億7,231万円

■国保関係事務費の増

介護保険（第2号） 0万円  
総額 6億3,245万円→6億3,245万円

■平成29年度決算に伴う財源調整（予算組替）

観光事業（第3号） 137万円の増  
総額 1億8,395万円→1億8,532万円

■スキー場運営事業の増ほか

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院給与勧告に基づき、議会議員、特別職、職員の6月、12月に支給する期末手当等の割合を100分の5引き上げる改正で、原案のとおり可決されました。【原案可決】

### ◆平成30年度各会計補正予算

○一般（第5号）

300万円

○観光（第3号）

137万円

【原案可決】

## みなさんも比布町議会を 傍聴しませんか

次回の議会定例会は3月4日（月）頃に開会の予定です。  
くわしい日程は、無線放送等でお知らせしています。

一般質問  
ズバリ！ここが聞きたい

中本 諭 議員

## 胆振東部地震を検証し 本町の防災計画の課題と対策を

村中町長 >>>

### 「いざ」というときの備えを しっかり検討していきたい

□質問・中本議員

平成30年9月6日、午前3時8分頃に胆振東部地震が発生しました。本町では、午前3時30分には村中町長をはじめ、職員全員が対応にあたり、大きな被害がなかったことは幸いでした。

本町での直下型地震は、昭和43年（1968年）5月の函館沖地震以来、50年ぶりです。しかし、当時と大きく違うことは、現在では上水道、下水道が完備され、通信や家庭生活全般が電化されたことによって、停電（ブラックアウト）では、さまざまな不便が生じました。

今回の災害を検証した結果、課題が浮かび上がってきたと思います。その対策を伺います。

■答弁・村中町長

昨年発生した胆振東部地震では、本町では震度3を記録しましたが、地震による直接的な被害はなかったものの、本町でも翌日まで停電が続きました。

初期対応として、約20分後には対応を開始し、ライフラインの一つである上・下水道は約40分後には職員が外部電源及び燃料の確保に努め、水道水の供給を止めることなく施設の稼働ができました。

また、地下水利用の世帯では、地

下水ポンプの稼働が止まりましたが、行政区長や分館長の協力により、11か所の行政区会館、南分館、東園及び蘭留地域センターの3か所を合わせた14か所で給水所を開設できたことで大きな混乱は防げたと思っています。

情報提供については、防災無線で周知したほか、広報車2台で巡回を行い、ツイッターやフェイスブックなどでも情報提供を行いました。

しかし、スマートフォン等を所有していない情報弱者と呼ばれるシニア層には、即時に情報が伝わらないデメリットもありました。

支援を必要とされる方々については、社会福祉協議会や民生委員との情報共有の課題も出てきました。

さらに今回の災害教訓として、行政ができることには限界があり、その部分を補うためにも地域の皆さんとの「自助・互助・共助」が必要であると再認識しました。

今後の停電対策として「比布町自主的防災備品購入補助要綱」を制定し、家庭用発電機及びポータブルストーブの購入に対して、一定の支援を行います。

□質問・中本議員

災害時における情報提供、そして燃料と食料の確保、上・下水道の耐

震化、災害ゴミの処理、見舞金制度など、さまざまな課題が出てきましたが、考えを伺います。

■答弁・村中町長

情報の共有や役割分担、地域分担など、少し時間がかかってしまった現状があります。今回のことを教訓に役場だけではなく、しっかりと連携を図り対応したいと思えます。

燃料については、除雪作業車の燃料の運用、町内のガソリンスタンドとの連携について協議を進めます。

食料は現在、お米2700食分、乾パン676缶を確保しています。が、各家庭での「自助」が大切になってきます。

上・下水道の耐震化については、設備を一齐に更新するのは難しく、更新時に検討します。

災害ゴミ等の置き場については、町の空き用地を活用することも考えられます。

災害見舞金制度については、今後「公助」の一つとして、検討できればと思います。

「いざ」というときの備えをしっかりと検討します。





植西 浩一 議員

# 観光政策の採算性と 施設運営の具体策は何か

村中町長 >>>

## 採算性だけでなく 町内への経済効果や町民の憩いの場に

□質問・植西議員

村中町政のキーワードとして「交流人口の増」があり、観光政策はそれを実践する最上級のアイテム（事業項目）です。

しかし、財政について考えるとき、採算性をどのような指標をもって判断するかが重要です。

現状についてどのように把握しているのかお聞かせください。

■答弁・村中町長

観光政策を単純に採算性で推し量ってしまうのではなく、本来の目的である町内への経済波及、雇用の場、また、情報発信の場として議論をするべきだと思います。さらに、町民のリフレッシュの場としても活用されていると思います。

□質問・植西議員

それぞれの目的についてそれぞれの成果が中途半端な状況にあると思います。

経済効果がどの程度なのかはつきりせず、雇用人数が増えるわけでもなく、また、観光振興協議会なども含めて情報発信しているようには感じません。

また、エリア内には指定管理者を定めて民間活力を活用しようと考えている施設もありますが、町の施設

ばかりが見えて指定管理者の具体的な努力が見えません。

■答弁・村中町長

町営の施設である以上、町が主な責任を持って運営いたします。そのため、イベントやPRを町が連携しながら行っていく予定です。

また、良佳村エリアには多額の投資がされています。ここを赤字からといってやめると簡単に考えるのではなく、町民と一緒に活用されるように考え、この施設をどう生かしていくかが大切だと思っています。

□質問・植西議員

「比布町立学校の  
コミュニティ・スクール化を」

先進事例や成功事例があちこちで語られる中、比布の町立学校の運営をどのようにされるのか教育長の思いをお聞かせください。

■答弁・北川教育長

「社会に開かれた教育課程」を實現し、さらにふさわしい学校運営の仕組みを整え、比布の良さや特色を生かしたコミュニティ・スクールを推進して「地域とともにある学校」を目指していきます。

学校と地域住民、保護者が学校や

地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンを持つて一体となつて子どもたちを育ていくことは、子どもの豊かな育ちを確保するとともに、そこに関わる大人たちの成長も促し、ひいては地域の絆を強め、地域の担い手を育てていくことにつながります。

□質問・植西議員

学校のもう一つの役割である<sup>※1</sup>「キャリア教育」についてお考えをお聞かせください。

■答弁・北川教育長

今まで実施してきた「君の夢プロジェクト」のコンセプトを大切にし、さらに<sup>※2</sup>コミュニティ・スクールの中でできるか考えたいと思います。

◎用語の説明

※1 キャリア教育とは

職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育のこと。

※2 コミュニティ・スクールとは

保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方を持つ学校のこと。

一般質問  
ズバリ！ここが聞きたい



安藤 裕子 議員

## 子どもの未来に新しい発想 国際交流の支援計画は

村中町長 >>>

異文化体験の感動を子どもたちに！  
将来的に支援を実現したい

□質問・安藤議員

グローバル化が進むこの時代、世界で活躍できる子どもたちの育成、5年、10年先を見据えた子育ての一つとして、幼児期から異文化への興味を持たせるためにも、外国の方々との交流会や海外へのホームステイも視野に入れた支援計画はあるのか伺います。



■答弁・村中町長

スマートフォン等の普及によってインターネットがより身近になり、子どもでも外国の情報が気軽に得られる時代だからこそ、直接触れ合う経験によって得られる感動の大切さがより一層重要になっていっていると考えており、異文化体験、海外へのホームステイは、大きな意味を持つものであると考えます。

現在、本町ではそうした交流やノウハウがありませんが、外国との

ネットワークを持つている町民の方

や保護者からの意見も聞いたうえで他町の取り組み、安全性や財源などの課題を研究し、将来的には実現できるよう検討してまいります。

□質問・安藤議員

近隣町には日本語学校があり、留学生と料理教室や自国の文化・伝統などの交流があります。そこへの乗り入れも可能かと思いますが、どのようにお考えですか。

■答弁・村中町長

他町にある施設は大切だと思っており、絵本を通じた交流や言葉の交流、文化の違いに触れる機会を本町でもできるのではないかと考えます。

□質問・安藤議員

「地域の防災意識を高めるための  
防災リーダーの育成を」

胆振東部地震に伴う町内全域の停電で、今後の対策や避難所運営も含めた各地域、ボランティア団体、「びっぷの和」などにおいて防災リーダー育成の講座を定期的に関き、町民と行政が一体となるような地域の防災意識を高めるための計画等はあるのか伺います。

■答弁・村中町長

「自助・互助・共助」の推進という観点から防災の専門家などを招き出前講座や防災リーダーの研修会受講者に対する支援、地域や各団体の活動支援を検討してまいります。



□質問・安藤議員

防災の専門家などの講演を聴くだけではなく、体験型の避難所運営ゲーム北海道版「DOはぐ」という訓練方法なども検討できますか。

また、町民カレンダールの後ろにハザードマップ（避難地図）が付いているが、文字が小さく活用できないので、改善できないか伺います。

■答弁・村中町長

どちらについても研究し、改善に向けて検討します。



遠藤 ハル子 議員

# 比布川防災事業の促進を どのようにしていくのか

村中町長 >>>

## 引き続き早期完了の要望を行う

### □質問・遠藤議員

比布川近くの住民から「最近の日本は台風被害、大雨に洪水、土砂崩れなどがあり、川の中の大木やヤナギ、シラカバ、中洲の土砂などが年々大きくなり、今度はいつ災害が起きるか」と不安。「続きの工事はいつになるのか」の声が届いています。

平成30年8月27日の上川総合振興局公表の「石狩川水系比布川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」では、北5線7号付近の極楽橋付近から南地区の石狩川の合流地点までが浸水想定と示されています。

順次、河川の浚渫や橋の架け替えが行われているところですが、来年度に向けてどのように要望していくのか伺います。

### ■答弁・村中町長

河川敷地内の雑木等処理について、町からの要望で旭川建設管理部から当初予算要望をあげています。が、「人的被害の恐れがある箇所を優先に」とのこと、当初予算が付かない状況が続いています。

旭川建設管理部として、雑木処理が必要と判断し、2015年度(平成27年度)から予算の執行残の範囲内で伐木を行っています。現在、国道40号線から北3線5号の共栄橋までと、北5線道道から北5線10号拓

進橋までの伐木が終了し、今年度は共栄橋から6号と7号の間までの区間が発注済みで、ご要望の箇所は来年度以降の予算の執行状況により伐木を行うようですので、しばらくお待ち願います。

引き続き早期完了の要望を行っていきます。

### □質問・遠藤議員

石狩川上流減災対策協議会で減災目標が33年までの5年間の計画です。早期完了を求めていくと言いますが、例えば、今年度に完了した部分以降、来年度は残りを発注していくなど、段階的なことになるかと思いますが、早期完了を求めていく方法をお聞かせください。

### ■答弁・村中町長

北海道の財政状況も厳しい中で、ので、いつできるかは明言できませんが、今のペースで進むと、あと3年程度で終わるのではないかと考えています。

### □質問・遠藤議員

災害警戒警報の周知方法については防災無線もありますが、スマートフォン等への防災メールへはどのように考えていますか。

### ■答弁・村中町長

一人でも多くの皆さんに災害時の状況を知らせるような手段に努めていきたいと思っています。

防犯・防災メールに限らず、役場の前に貼り紙をする、「ライン」というアプリのツールの活用、広報車で現地に行くなど、さまざまな方法で周知に努めます。



雑木や中洲の土砂堆積が目立つ比布川



10  
23

## 上川管内議会議員研修会

10月23日（火）、当麻町公民館「まとまーる」において、上川管内議会議員研修会が開催されました。

2人の講師による講演があり、まず最初は元米国森永乳業社長の雲田康夫氏による「豆腐バカ世界に挑む！」と題して講演され、アメリカでの豆腐の販売戦略について話されました。

今や「和食」は、世界無形文化遺産に登録されている時代であり、異国で文化の違う食べ物でもある程度の期間が必要ですが、死にものぐるいでやれば成長させることは可能であると話されていました。

次に、百貨店山形屋（鹿児島県）のカリスマバイヤー日高博昭氏による「山形屋の『北海道主催の物産と観光展』への取り組み」として講演され、本物を鹿児島まで持ってくるというコンセプトのもと、商談会だけではなく「畑」「工場」「牧場」「市場」と実際に現場を視察し、作り手側と徹底的にコミュニケーションをとり、「北海道へ行かずして北海道価格で買える」とお客さまに信頼され、道主催の「北海道物産展」は18年連続売上日本一となりました。

何よりも一番大切なことは、生産者や製造者まで巻き込んで信頼関係を築き上げ、「物を見る目」「売る力」が大事であると話されていました。

中本 諭



元米国森永乳業社長  
雲田 康夫 氏



山形屋カリスマバイヤー  
日高 博昭 氏

11  
6

## 上川中央部5町議会議員研修会

えのき茸培養センター  
農業組合法人「ヒット」にて現地研修

### ■会社概要

- ・所在地 愛別町字中央1570番地
- ・設立 平成8年11月1日 代表理事組合長 宮田哲雄
- ・事業内容 えのき茸の栽培
- ・年間生産量 3,400ト

平成8年に、きのこ栽培農家5戸が協同し発足。えのき茸に特化し、店頭での対面販売、料理の指導、商品管理にも目を光らせ、さまざまな努力を重ねることにより、全道の有名スーパーや小売店に納入し、「きのこの里・愛別町」を代表する農業法人として成長しました。次世代の経営者も確実に育てており、ますますの発展が期待されます。

上川中央部は米どころであるが、稲作における生産量は頭打ちとなっており、他作物への転換が大命題となっている現在、多くのヒントをいただく研修となりました。

八巻 良博



# 委員会の activities



## 総務常任委員会

11月26日開催

### 【総務企画課】 《協議事項》

- ▼第5回臨時会提出議案について
  - ・議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（案）について
  - ・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正（案）について
  - ・職員給与に関する条例の一部改正（案）について

## 総務常任委員会

12月3日開催

### 【税務住民課】 《報告事項》

- 平成30年度町税等の収入状況（10月末）について
- 上川広域滞納整理機構の収納

状況について

### 【保健福祉課】 《報告事項》

- 高齢者等の門口等除雪事業申込状況について
- 各種検診受診状況について
- 各医療費の状況について
- 介護保険事業の利用状況等について

### 《協議事項》

- ▼第4回定例会提出議案について
  - ・一般会計補正予算（案）について
  - ・国民健康保険特別会計補正予算（案）について
  - ・介護保険特別会計補正予算（案）について

### 【生涯学習課】 《協議事項》

- ▼一般会計補正予算（案）について

### 《報告事項》

- 平成31年度就学予定児童について
- 男児9人、女児14人、合計23人
- 全国学力・学習状況調査、北海道版結果報告書について
- 平成30年度君の夢プロジェクト推進事業について
- 第70回成人式の開催について

平成31年1月13日開催予定  
今年度対象者30人

- 旧蘭留小学校校舎等賃貸について

施設用途外の使用、現在の事業内容等の報告がありました。

- 学校における働き方改革アクション・プラン並びに部活動の在り方に関する方針について

### 【総務企画課】 《報告事項》

- 第4回定例会提出議案について
- 比布町表彰について

- 第12次まちづくり計画について
- 計画策定の趣旨は、本町が当面する最大の課題である「人口減少対策」を主にしたものとし、1700以上ある市町村の中から、暮らし続ける場所として選ばれるために取り組む基本的な方針として、第12次比布町まちづくり計画が策定されます。

- ふるさと納税の状況について
- バルクリース事業に関する報告について
- ファイターズ応援大使事業報告について
- ビレッジ・バイ・ヴォレアスについて
- 平成31年度職員採用について

### 《協議事項》

- ▼第4回定例会提出議案について
- ▼一般会計補正予算（第6号）について

- ▼比布町自主防災備品購入費補助金交付要綱について

この要綱は、比布町民が自然災害から身を守るための備品（家庭用発電機及びポータブルストーブ）等の購入を促進し、『自助・互助・共助』を目的とする自主防災備品購入費を補助するものです。

## 議員全員協議会

12月6日開催

### 《協議事項》

- ▼【産業振興課】
- ▼良佳プラザ遊湯びっぷ貸室使用料の関係について

### 【総務企画課】

- ▼補正予算に係る不用額調整の取扱いについて

## 議員全員協議会

12月13日開催

- ▼第12次まちづくり計画（素案）についての説明



**産業建設常任委員会**  
11月26日開催

【産業振興課】

《協議事項》

▼第5回臨時会提出議案について

▽農林部門

農林業費道補助金300万円の増額補正。広島県等の大雨災害に代表されるように、近年、農業用ため池が決壊し、周辺農地、住宅などに大きな被害が出ています。比布町においてもランル貯水池があり、周辺地域のハザードマップを作成し、減災対策を行うものです。

▽商工・観光部門

観光事業基金繰入金427万5千円の増額補正。スキー場従業員防寒着更新に伴い、観光事業特別会計に不足が生じることから、スキー場運営事業に基金を繰り入れます。(防寒着38着、フリース30着)

《報告事項》

■良好プラザ遊湯びつぷの貸室使

用料過大徴収について

平成26年に宿泊料の改定が行われた際に、改定されていない貸室についても同時期に値上げをした

ため、条例に定める額と差異が生じた金額のまま徴収してしました。平成30年までの過大徴収額は12万8800円であり、指定管理者より全額返還を行います。

**産業建設常任委員会**

12月6日開催

【農業委員会】

《報告事項》

■平成30年度産水稲生産量調査について  
10a当たり平均収量 461kg  
(前年566kg)

■農用地集積状況について  
・所有権移転13件・賃貸借24件

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況について

■平成30年度除雪計画について  
事故防止の観点から砂散布時については、より丁寧な対応を行います。

また、比布駅前通り線の除排雪については、旭川建設管理部により一層の努力を求めるが、比布町としても道路状況が悪化した場合は、排雪などの対応も行います。

■まちづくり懇談会での意見要望について

側溝の蓋、トラフ等の破損や土砂堆積などへの対応、道路舗装のひび割れ、街路樹管理等の要望について、改善できるものは対処し、それぞれに回答しています。

■町営住宅管理条例施行規則の一部を改正する規則について

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■米出荷・青果物販売実績について

■経営所得安定対策等交付金について

■町単独補助事業実施状況について

■平成31年度産米「生産の目安」に係る経過と予定について  
米、そば、麦などに被害が多く、収量が平年を下回りました。

また、「生産の目安」において数戸の離脱があり、31年においても100%の参加は難しい状況です。

《協議事項》

▼第4回定例会提出議案について

▼農地流動化促進事業について  
北海道農業公社の賃貸契約は、

売買支援の対象にすることを協議しました。

▼いちご再振興に係る実証事業について

「びつぷいちご」再振興戦略検討プロジェクトチームによる検討結果に基づき、町とJAびつぷ町による融資・補助金制度を創設し、上川農業試験場や先進地の技術を活用した「冬いちご」の実証栽培事業の構想について協議がありました。

▽商工・観光部門

《報告事項》

■平成30年度各観光施設の利用状況について

遊湯びつぷ、グリーンパークびつぷ、びつぷスキー場、地域ふれあい館等の実績と利用状況の報告を受けました。

■商工業振興補助金の返還について

《協議事項》

▼第4回定例会提出議案について  
農産加工室ボイラー改修、遊湯びつぷLED照明化、交流施設建物管理委託料の増、スノーイベン卜補助金の委託料変更などを協議しました。

# 議会のうごき

## 11月

- 8~9日 上川中央部市・町議会正副議長研修会  
(東神楽町、議長)
- 19日 比布中学校校舎落成記念式典  
(中学校、各議員)
- 20~22日 町村議会議長全国大会及び上川町村議会  
議長会臨時總會 (東京都、議長)
- 21日 日本ハムファイターズ中島選手・上原選手  
との懇談会 (役場、副議長)
- 25日 宗谷本線活性化推進協議会 (名寄市、議長)
- 26日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)  
産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
第5回議会臨時会 (役場、全議員)

## 12月

- 1日 びっぷスキー場開場式 (スキー場、全議員)  
当麻町役場新庁舎落成記念祝賀会  
(当麻町、議長)
- 3日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 5日 大雪浄化組合議会定例会 (愛別町、組合議員)  
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会  
(愛別町、組合議員)
- 6日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)

- 議員全員協議会 (役場、全議員)
- 10日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 13日 第4回議会定例会 (役場、全議員)  
議員全員協議会 (役場、全議員)  
議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 21日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)

## 1月

- 7日 比布消防団出初式  
(比布コミセン・改善センター、全議員)
- 9日 比布商工会新年交礼会 (商工会館、議長)
- 13日 第70回比布町成人式  
(農村環境改善センター、全議員)
- 17日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市、議長)
- 18日 議会広報特別委員会 (役場、委員)  
総務常任委員会 (役場、委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
第1回議会臨時会 (役場、全議員)  
議員全員協議会 (役場、全議員)
- 25日 上川中央部市・町議会議長会定例会議  
(旭川市、議長)
- 26日 自民党第6選挙区支部・旭川支部  
「新春の集い」 (旭川市、議長)
- 29日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

### \* 編集後記 \*

今年は大激動の1年になると予想しています。政治、外交、環太平洋連携協定(TPP)や自由貿易協定(FTA)が農業や私たちの暮らしにどう影響するのか心配です。

12年に一度の統一地方選挙、参議院選挙が重なる年で、国民が政治参加できる年です。ぜひ、投票に行きましょう。

景気が悪い一因にパートや派遣労働があります。派遣労働者は3か月ごとに契約を更新し、何年働いても正規労働者になれず、年収は150万円前後が多いのが現実です。これでは夢も持てず、独立したり世帯も持てません。

「同一労働・同一賃金」や待遇を望む労働者にとって、今は全労働者の4割以上が派遣・パート労働では景気が良くならず、働き方改革と言われていますが、まだまだ道半ばです。地方でも暮らしている正規労働者が増え、所得が増えることは一つの解決策といえます。今、第12次まちづくり計画を話し合っています。町の将来を一緒につくっていくことの希望や思いを持っている人に出会い、力を合わせていかなければならぬと思います。2019年の初めに議会広報を作っています。

広報を読んだ感想やご意見をお寄せください。

(遠藤 ハル子)

議会広報特別委員会  
委員長 遠藤 ハル子  
副委員長 安藤 裕子  
委員 八巻 良博  
佐藤 康則  
中本 論